

フィリップス
場所を選ばず診療をサポートできるタブレット型
超音波診断装置発売
「VISIQ(ビジック)」
(2015/9/1)

「VISIQ」は、タブレット型タッチパネル式の専用本体と、USBで接続する腹部用のコンベックスプローブである「C5-2」トランスジューサを装備。数々の画像自動最適化機能も備えているため、高画質で簡便に超音波検査を行うことができる装置。タッチパネルはピンチイン・ピンチアウトで画像の拡大・縮小ができ、アイコンもイラストで表現されるなど、スマートフォンや、タブレットPCと同様な直感的な操作が可能である。2D、カラー、Mモード、パルスドプラなど検査に必要なモードをそろえ、腹部全般の検査に対応、さらに産婦人科用の計測アプリケーションも搭載している。タブレットの機動性に加え、画面サイズは11.6インチのため、診断や詳細な計測にも十分な画像の提供が可能となっている。



タブレット型超音波診断装置「VISIQ」